

個別事業説明書【PR版】

南予地方局



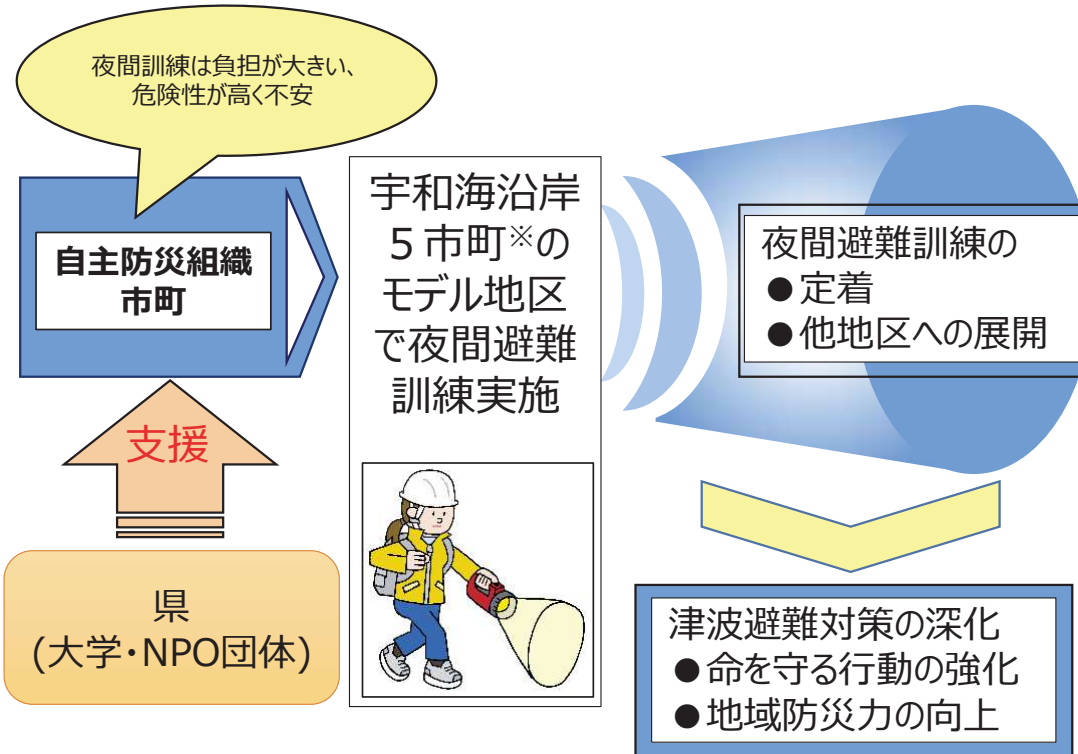
1 南予津波夜間避難訓練支援事業費(南予)

南海トラフ巨大地震の発生に伴い、津波到達時間が短く甚大な津波被害が想定される宇和海沿岸において、夜間・早朝等の迅速な避難に備えるためモデル地区での夜間避難訓練実施を支援し、他の地区に展開する。

お問い合わせ先
南予地方局地域産業振興部
総務県民課防災対策室
(0895-28-6103)

事業イメージ

KPI 宇和海沿岸での夜間訓練実施率 **現状値** (参考)津波避難訓練実施率:29.1%(R4.10時点) **目標値** 50%以上 (R7年度)



※津波避難対策特別強化地域に指定された八幡浜市、伊方町、西予市、宇和島市、愛南町

事業概要

- 1 事業期間：R5～6年度(2か年)**
- 2 事前研修会 134千円**
夜間避難訓練の先進地の関係者を招へいして、実際に現地を視察してもらい、訓練実施の注意点等についてアドバイスを受け、全体計画を作成する。
- 3 モデル地区の選定**
 - (1) 対象地区：宇和海沿岸5市町(八幡浜市、伊方町、西予市、宇和島市、愛南町)の津波災害警戒区域内の地区
 - (2) 地区数：2か年で合計10地区【各年度5地区】
※1地区/市町×5市町×2年=10地区
- 4 夜間避難訓練の実施 558千円**
 - (1) 準備会の開催
アドバイザーやコーディネーターの指導助言のもとモデル地区の実情に応じた具体的な実施計画を策定し、準備するチェックリストを作成する。
 - (2) 地域住民による避難訓練の実施
 - (3) 振り返り会の開催
避難訓練を検証し課題整理のうえ、手順等を見直し、次回の避難訓練計画に反映させ、PDCAサイクルを実践する。
- 5 夜間避難訓練の他地区への展開 308千円**
 - (1) 県・市町で構成する「南海トラフ地震津波避難対策検討ワーキンググループ」において他地区へ展開するための具体的な計画を立案の上、働きかける。
 - (2) 夜間避難訓練の事例集や手引き作成 (R5事例集、R6手引き)
R5はモデル地区の実施内容を事例集としてまとめ、R6はR5の内容と合わせ夜間訓練に必要な手引きを作成し、他地区への展開に役立つ。



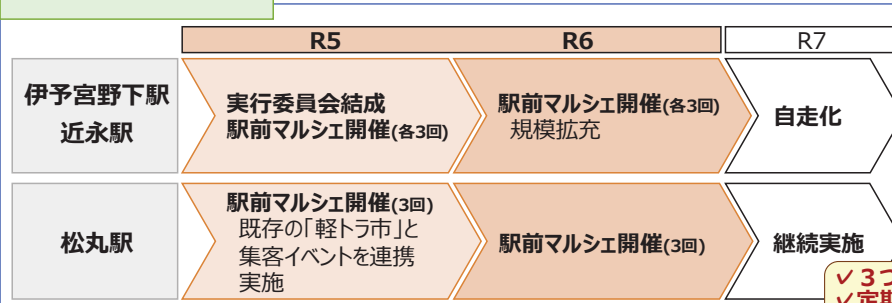
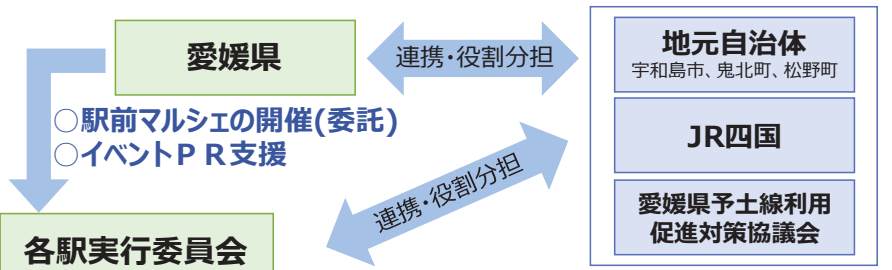
2 予土線駅前賑わい創出事業費(南予)

人口減少が著しい予土線沿線地域において、主要3駅(伊予宮野下駅・近永駅・松丸駅)で駅前マルシェを定期開催し、新たな賑わいを創出するとともに、交流人口の拡大を図る。

お問い合わせ先
 南予地方局地域産業振興部
 地域政策課
 (0895-28-6143)

事業イメージ

KPI	イベント参加者数 (平均約1,300人×9回)	現状値	-
		目標値	12,000人(松山圏域1,200人)(R6年度)



◆駅前マルシェのスケジュールイメージ

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
伊予宮野下駅					●			●			●
近永駅	準備期間			●		●				●	
松丸駅			●				●		●		

※開催日は各月の第4日曜日を想定

事業概要

1 駅前マルシェの開催 1,777千円

- ◆予土線主要3駅(伊予宮野下駅・近永駅・松丸駅)で、駅前マルシェを開催
 - ・運営は、駅前ごとに地域住民等で組織する「駅前マルシェ実行委員会(仮)」に委託
 - ・開催日は、6月～2月の間、各駅前持ち回りで定期的に開催
 - ・初回マルシェの開催時にはオープニングセレモニーを開催



駅前マルシェイメージ

【誘客策(例)】

- キッチンカー出店(地域外)
- 遊具の設置(家族連れ)
- ステージイベント(中・高生)



家族向け遊具

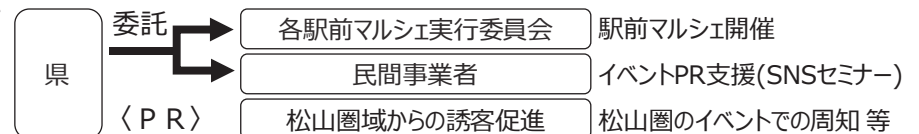
ステージイベント

2 イベントPR支援 460千円

- ◆関係者からの積極的な情報発信に向けたスキルアップ
 実行委員会メンバーを対象に、SNS運用セミナーを実施
- ◆松山圏域からの誘客に向けたPR
 松山圏のイベントでの周知、マスコミと連携したPR、タウン誌への広告掲載等

《事業連携》 ・予土線利用促進対策協議会事業との連携
 ・予土交通アクセス強化事業費(交通政策室)との連携

《スキーム》





3 「南予の媛小春」魅力アップ事業費（南予）

栽培上の課題に対する技術的対策と媛小春の特長を生かした直販向け品目としての販路拡大支援により、栽培面・販売面の優位性を立証し、品種の多い南予らしさを発揮した柑橘王国のラインナップの充実を図り、所得増加に加え、愛媛県産かんきつファンのさらなる拡大に繋げる。

お問い合わせ先
南予地方局農林水産振興部
農業振興課産地戦略推進室
(0895-28-6147)

事業イメージ

KPI 南予地域の年間生産量
(R5:12t, R6:18t, R7:25t)

現状値 10t(R4年度)
目標値 25t(R7年度)

媛小春の現状（南予）

年次	品種	栽培面積（南予）：ha		生産量（南予）：t		味		出荷時期	単価（円/kg）	単収（kg/10a）
		2010年	2021年	2010年	2021年	糖度	酸度			
2005	紅まどんな※	0.8	67.6	7.8	665.7	11.6	1.12	11下～1上	706	2,500
2007	甘平	3.0	123.6	27.7	790.9	12.4	1.09	2上～3上	642	2,900
2008	媛小春	0	1.5	0	15.2	11.9	1.37	1上～3上	300	2,000
	媛小春					13.8	0.96	1下～2下	500～1,000	1,500

媛小春のポテンシャル

さすが果育成品種。データ上でも味に遜色なし！単価も悪くないのになぜ増えない？

【栽培面の課題】

- 樹勢が強く、着果が安定しない
- 果皮が柔らかく、傷みやすい
- 新規栽培者を増やしたい

【販売面のポイント】

- 共販品目としての出荷は少量
- 販売は個人（産直・ECサイト）主体、ファンは増加傾向
- 外観は個性的、食味は極めて良い

★栽培しやすい技術
★収量がアップする方法

★情報発信
★加工品開発・商談
★贈答仕向け

栽培技術の向上による生産量拡大
及び新規栽培者の獲得

戦略的流通・販売支援対策

技術的課題解決
販路拡大・認知度向上

栽培面、販売面で
魅力アップ！

生産農家増・所得増
品種ラインナップ充実

事業概要

1 栽培技術の向上による生産量拡大及び新規栽培者の獲得 650千円

品種特性上、樹勢の強さに起因する初成り時期の遅さや、不安定な着果を改善するための技術的対策を講じ、早期結実化や着果量向上を図ることにより安定多収を実現する。

- (1) 安定生産技術の開発
 - ・ヒリュウ台木利用での着果性向上実証 等
- (2) 品質向上技術の検討
 - ・果皮障害軽減技術の検討 等
- (3) 媛小春セミナーの開催
 - ・新規栽培者獲得に向けた技術交換セミナーを開催

2 戦略的流通・販売支援対策 350千円

優れた食味を生かし、従来の外観規格に依らない直販用品目として、南予産直ネットワークや個別販売事業者と連携した認知度向上対策を実施し、販路拡大を目指す。

- (1) 媛小春イメージアップキャンペーン
- (2) スイーツ店とのマッチング、コラボ商品販売
- (3) ギフト用かんきつ王国セット商品（ブラッドオレンジ等+媛小春）の造成

